

NewsLetter

自治医科大学地域医療オープン・ラボ



Vol.110, Sep, 2016

Moodle を利用した医学・医療教育の最前線

自治医科大学 情報センター 浅田義和

情報センターの浅田義和です。以前にメディカルシミュレーションセンターの教員としてシミュレーション医療教育の紹介や研究について紹介させていただきましたが (Vol. 49, Sep, 2011)、今回は情報センターの教員としてeラーニングシステムである Moodle (ムードル) の紹介とその活用についてご紹介します。



Moodle とは？

Moodle は 2002 年に Martin Dougiamas らによって開発された eラーニング運用のシステム (LMS : Learning Management System) で、現在は Moodle HQ によって開発が継続されています。国内外で幅広く利用されており、The Campus Computing Project による 2015 年の報告では LMS のシェアとして第 2 位 (全体の約 2 割) を占めているとされます。

Moodle で実現可能なことは非常に多岐に渡ります。テキストや動画および PDF ファイルなどの資料提示、択一形式や記述式・穴埋め式などの小テスト、レポート課題の提示および回収と採点、掲示板を用いた学習者同士でのディスカッションなど、基本的な学習支援については標準機能のみで実施することが可能です。ただし、ID・パスワードで管理している環境ではあってもオンライン上に情報を掲載することになるため、著作権上の問題には十分注意する必要があります。



Moodle の実践事例

本学では学部・大学院の授業に加え、病院での研修や臨床研究倫理、看護師特定行為研修など、様々な場面で Moodle を活用しています。ここで、その実践事例の一部をご紹介します。

授業での課題・補助教材

最も標準的な使い方は、授業や実習等で利用する資料や課題などを提示するというものです。前述したように様々な小テストや課題を提示することができますし、それぞれの課題を学生がきちんと行ったかどうか確認できるよう設定することも可能です。

1 年生の選択科目として行っている「インストラクショナル・デザイン入門」では、授業時にその日の振り返りを投稿してもらうことに加え、知識確認の問題などを折に触れて提示するようにしています。

シミュレーションや対面講習の事前課題

Moodle が活用できるのは授業や実習の「後」だけではありません。いわゆる反転授業のような予習用教材の提供、あるいは看護師の特定行為研修のようにオンライン学習を主体とした授業・研修を実施することも可能です。

シミュレーションセンターの所属時より、病院の新人看護師に対する多重課題研修の運用に携わっていましたが、その教育効果を高めるために2014年度より事前学習としてMoodleを用いた教材の設計・導入に着手しています(2015年度採択 若手研究(B) シミュレーションとeラーニングとを用いた新人看護師のための多重課題研修の開発 15K16261)。

演習・実習の学生評価

Moodle では課題として提出されたレポート等を評価する際にルーブリックを利用することができますが、これを応用し、実習やBSLでの学生評価をMoodle上で行うという取り組みが始まっています。2016年度のFDとしても、4月・5月で合計3回、この内容について紹介させていただきました。

改善に関する様々なご要望もいただいております、より使いやすくするための方策なども検討しております。すべてに対して対応ができるとは限りませんが、利用に際して不都合な点などありましたら、ぜひご意見いただければと思います。

学習過程および学習成果の分析

LMS等のツールを用いて学習・教育の実践および改善を行うにあたっては、やりっ放しではなく導入した効果を検証することが必要不可欠です。Moodleでは課題等の最終成績に加え、前述したような学習者の課題完了状況、さらには小テストの誤答傾向など、様々なデータを取り扱うことができます。

また、Moodle単体では解析しづらい場合も、データベースから直接データを取り出し、R等の統計解析環境で処理することで学習者の学習過程や成果を分析することも不可能ではありません。学習分析、さらにはIRの一環として、こうした学習・教育データの集積と分析を行うにあたって、Moodleは活用可能なツールとなっています。

MoodleMoot

MoodleMoot (ムードルムート) はMoodleに関する研究会で、Keynoteスピーカーによる講演や実践事例に関する発表、デモやワークショップなどが行われます。日本でも2009年より毎年2月頃に開催されています。これまで国内では語学教育などの分野における実践報告などが多かったのですが、今後は医療など他分野での導入・活用報告などにも関心が高まっています。

宣伝ですが、2016年度のMoodleMootは2017年2月17日(金)～2月19日(日)、自治医科大学にて開催する運びとなっております(金曜はワークショップのみ)。今回は創始者であるMartinも来日が予定され(これまでSkypeでの遠隔講演のみ)、公式MoodleMootとして開催されます。年度末の忙しい時期ですが、お時間がありましたらぜひご参加いただけましたら幸いです。

Moodleの利用支援

簡単ではありますが、Moodleの説明およびその実践事例についてご紹介させていただきました。最初に触れたように、Moodleでは非常に多くのことが実現可能です。実際、先日のFDの後、実習評価以外の部分でもMoodleを活用してみたいというご相談を受け、個別での対応をさせていただいております。

一方、最初は操作に戸惑う部分も出てきてしまうかと思えます。そのため、情報センターの教員として、Moodleの利用に関する支援(操作方法の解説、FAQの作成、実際に授業や演習に取り入れていく際の全体設計のご相談など)も行っていきたいと考えております。他大学の事例をみても、例えば愛媛大学であれば全学の教育デザイン室(<http://idoffice.cite.ehime-u.ac.jp/>)、東京医科大学であればICT活用教育ワーキンググループ(http://www.tokyo-med.ac.jp/suishin/report/working_group/e_learning.html)など、支援体制を整えて二人三脚で進めているケースが多く見受けられます。

Moodleの活用に関してご興味・ご関心がありましたら、実事例や活用案などのご提案もさせていただけますので、ぜひ一度お声がけいただければと思います。

自治医科大学Moodle

メインメニュー

- サイトニュース

ナビゲーション

- Home
- サイトニュース
- コース

ログイン

ユーザ名

パスワード

ユーザ名を記憶する

ログイン

パスワードを忘れましたか?

サイトニュース

(まだ新しいニュースはありません)

コースカテゴリ

▼すべてを折りたたむ

▼2016年度 (2)

- ▼ 医学部 (2016年度) (1)
- ▷ L1 総合教育選択 (7)
- ▼ L2 総合教育必修 (7)
 - ▷ 理科総合 2016 (7)
- ▼ L3 基礎医学 (13)
 - ▷ 基礎医学 実習評価 2016
- ▷ L4 地域医療学
- ▷ L5 基礎臨床系統講義
- ▷ L6 社会医学 (2)
- ▼ L7 臨床医学I (5)
 - ▷ 臨床実習 評価
- ▷ L8 臨床医学II
- ▷ L9 臨床総括講義
- ▷ L0 セミナー
- ▷ 医学部FD用 (2016) (2)
- ▷ 医学系大学院 (2016年度) (57)

操作上の注意

オンラインテキストの入力

オンラインテキストの入力に時間が掛かると、タイムアウト（接続時間制限 現在2時間）により接続が切れてしまうことがあります。この場合、入力したテキストは失われてしまいます。

あらかじめエディタなどで入力し、Moodleの編集ウィンドウにコピーして貼り付けることをお勧めします。

コンテキストメニュー（右クリック）が使えないので、ブラウザのコピー&ペーストメニューを使用してください（または、Ctrl + C および Ctrl + V）。

Windows 10からの操作

Windows 10のEdgeブラウザでは、ファイルのドラッグ&ドロップが正しく機能しない場合があります。Windows 10でファイルをアップロードする場合、Internet Explorerを利用するようにしてください。

関連Eラーニング

Eポートフォリオ

- mahara (2016年度 M4)
- manaba folio (2016年度 M5・M6)

!!地域医療オープン・ラボNews Letter原稿募集!!

地域医療オープン・ラボでは、自治医大の教員や卒業生の研究活動を学内外へ発信するために、「自治医科大学地域医療オープン・ラボNews Letter」を定期的に発行しています。

<http://www.jichi.ac.jp/openlab/newsletter/newsletter.html>

- ☆ 自治医大の教員や卒業生の研究活動をご紹介ください
- ☆ 自薦・他薦を問いません
- ☆ 連絡先:地域医療オープン・ラボ openlabo@jichi.ac.jp

[発行]自治医科大学大学院医学研究科
 地域医療オープン・ラボ運営委員会
 事務局 大学事務部学事課 〒329-0498 栃木県下野市薬師寺 3311-1
 TEL 0285-58-7044/FAX 0285-44-3625/e-mail openlabo@jichi.ac.jp
<http://www.jichi.ac.jp/graduate/index.htm>